

学内の活動

Craft, Fabrication and Sustainabilityプロジェクト

岐阜県立森林文化アカデミー、株式会社TABと連携し、それぞれの持つスキルやノウハウ、手法を共有し、手仕事とデジタルファブリケーションを組み合わせた持続可能なスモールビジネスのためのプラットフォームを構築するための研究を行った。その一環として、2015年10月に飛騨市も出資者となっている株式会社 飛騨の森でクマは踊るが開催した「ヒダクマ秋祭り2015」において、デジタルファブリケーションを活用して椅子を作るコンテスト「第4回展開図武道会」を開催し、全国各地から作品を募集して展示すると共に、その製造用データである展開図のデジタルデータを全世界に向けてオープンソースにした。（詳細はプロジェクト成果報告書に記載）

ものづくりオープンメソッドプロジェクト

本巣市根尾地区において、フロントエンドデバイスやスマートフォンアプリ、ウェブサービス、バックエンドなど、様々な分野の専門家と共にInternet of Things (IoT) の可能性と課題を探求するイベントを9月と12月の2回に渡って開催した。2回の中で実際にIoTを活用しようとする際の可能性と課題に関する知見が得られたほか、この活動に注目したメディアにもとりあげられ、限界集落（あるいはそれに近い地域）におけるテクノロジーの活用という視点を広く一般に向けて提案することができた。（詳細はプロジェクト成果報告書に記載）

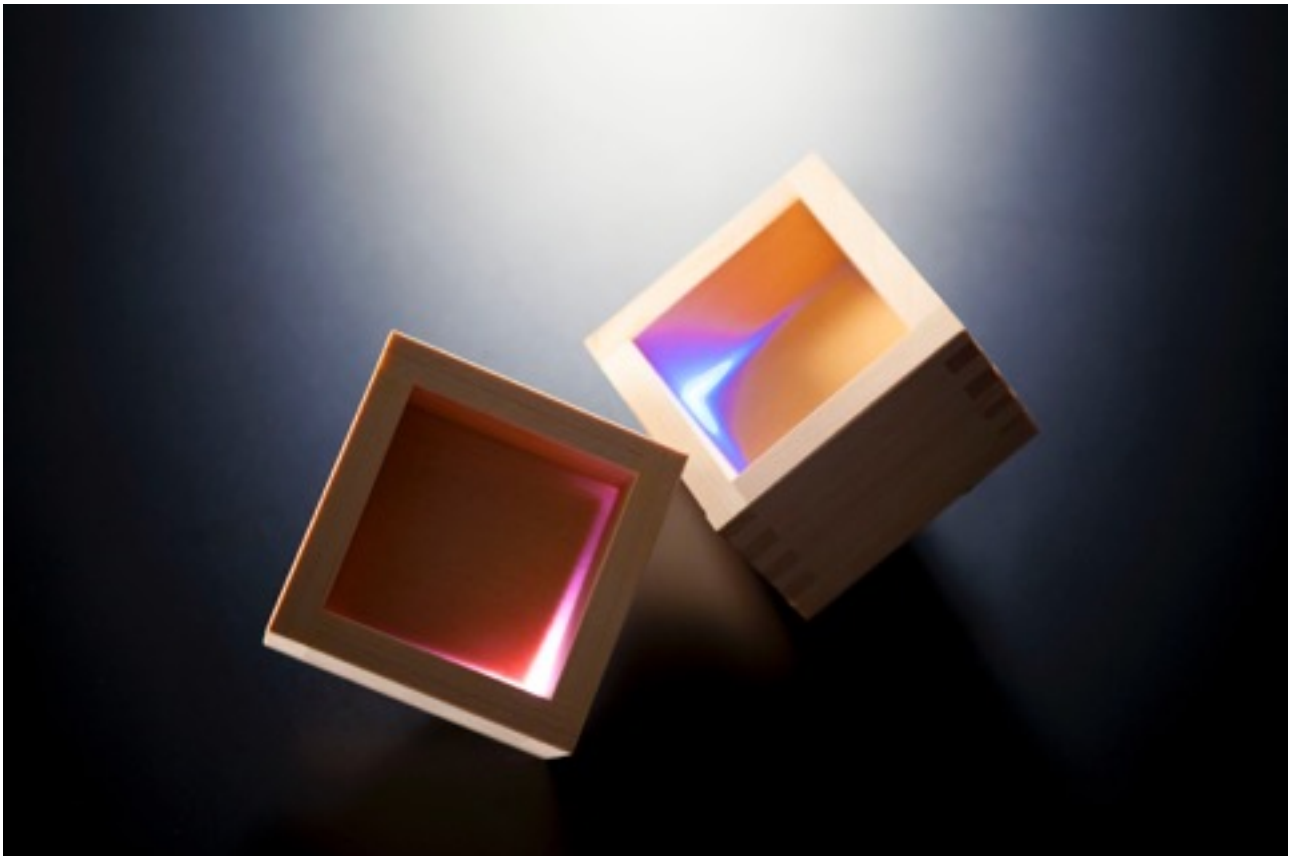
システム委員会

学内の基盤となるネットワークや共用備品等の運用に関して提言や調査を行った。また、ガイドブックや年度当初に行うeラーニングに関して共同でコンテンツのメンテナンスを行った。

学外の活動

コア・ブースター・プロジェクト

2013年度に有限会社トリガーデバイスおよび株式会社GOCCO.と共に実施した、地場産業と情報産業という異業種を掛け合わせてイノベーション創出に挑戦する取り組み「コア・ブースター・プロジェクト」の中から、傾けるとほのかに光ることで日本酒を飲む場面に彩りを添えるIoT製品「光枺」をクラウドファンディングMakuakeを通じて送り出した。



共同研究

前年度に引き続き、ローランド ディー.ジー.株式会社と「APIを提供する工作機械の評価及びそれを適切な理解の元で普及させるための方法のデザイン並びにその実行」に関する共同研究を行った。試作機は8月に東京で開催された「Maker Faire Tokyo 2015」で展示したほか、同月末に東京で開催した有識者会議において、デジタルファブリケーションの有識者と共に可能性と課題について議論した。また、AOLオンライン・ジャパン株式会社と「『オープンイノベーション』の手法の一つである『ハッカソン』『メイカソン』をより一般に普及させるための、現状の問題点認識と実施フローの確立」に関する共同研究を行った。さらに、文部科学省・科学技術振興機構による「革新的イノベーション創出プログラム（センター・オブ・イノベーションCOI STREAM）」の1つ「感性とデジタル製造を直結し、生活者の創造性を拡張するファブ地球社会創造拠点」に関

してポリシーグループのリーダーとして研究に参画し、2016年3月5日に開催されたシンポジウム「第2回 ファブ地球社会／創造的生活者シンポジウム—いま、わたしたちに必要なオープンイノベーションとは」等で成果発表を行った。

第2回 ファブ地球社会 創造的生活者 シンポジウム

「いま、わたしたちに必要な オープンイノベーションとは」

開催趣旨

社会の成熟化や高齢化に伴い、生活者ニーズの多様化が進んでいる現在の日本社会においては、要望にきめ細かく即時的に対応できる「デジタルものづくり」の活用や、ネットワークを通じたものづくり設計図の共有、共通の課題解決を志向するコミュニティの醸成について広く考えていく必要があります。

本シンポジウムでは、デジタルものづくり分野における人々の感性の発揮や、多様な現場への3Dプリンタの導入、産業と文化を結んだ「ものづくりコミュニティ」の登場などをテーマとしながら、市民・大学・企業・政府にとつての今後の取り組みについて論じます。

人間の感性に関する新たな知見、デジタルものづくりの未来形、新たなコミュニティから生まれる共創(コ・クリエーション)価値に関心をお持ちのみなさまの幅広い参加をお待ちしています。

プログラム概要

10:00-12:00 研究展示
 13:00 シンポジウム開演
 13:30-14:30 第1部 インクルーシブ・デザイン/感性とデザイン
 14:40-15:40 第2部 3D プリンタのオープンソース展開
 15:50-16:50 第3部 知的財産権とビジネスモデル
 17:00-17:30 パネルディスカッション

詳細はイベント案内ウェブページ <http://col.sfc.keio.ac.jp/col/event/> をご覧ください。

開催概要

主催 感性とデジタル製造を基盤し、生活者の創造性を拡張するファブ地球社会創造拠点(文部科学省Center of Innovationプログラム)

日時 2016年3月5日(土) | 10:00-12:00(研究展示) | 13:00-17:30(シンポジウム)

場所 慶應義塾大学三田キャンパス、西館

参加 参加費無料 | オンラインによる事前登録制
 (事前登録者には同時通訳レシーバーを配布) ※当日参加も可能です。

問い合わせ先
 ファブ地球社会創造拠点研究推進機構
fabearth@sfc.keio.ac.jp




ファブ地球社会創造拠点



ジェリアカシム
(東京工業大学)



スティーブ・ボイヤー
(ShapRac Ltd.)
iFデザイン賞(審査)



マイケル・ワイルバーグ
(Shapeways, Inc.)

研究報告・ディスカッション



丸岡雄二
(株式会社 ロンダフェロー)
iF2015プロダクトリーダー



和田洋典
(慶應義塾大学)
iF2015プロダクトリーダー



高田真子
(筑波大学)



荒川薫
(南山大学)



江澤新一郎
(慶應義塾大学)



吉川真光
(山梨大学)



田中秀也
(慶應義塾大学)



小林茂
(慶應義塾大学)



渡辺智博
(慶應義塾大学)

シンポジウム等

11月7日に開催したメイカームーブメントに関するシンポジウム「MakerCon Tokyo 2015」においてプログラムチェア、および各セッションのモデレータとつとめ、最先端で活躍する有識者と共にオープンイノベーションの可能性と課題について議論した。このシンポジウムでの知見は、と実会場で参加した参加者以外にも周知するため、後日レポート記事および動画を公開した。また、11月22日に開催されたGoogle株式会社の地域活性化プロジェクトを応援するプラットフォーム「イノベーション東北」が主催したシンポジウム「INTERNET for LOCAL DAY」に登壇し、地域におけるテクノロジーの可能性に関して、コア・ブースター・プロジェクトおよびIoT Boot Campの活動を事例として紹介し、有識者と共に議論した。



(イノベーション東北のウェブサイトより引用)